

高齢者の現状

(1) 人口と世帯の推移

① 加古川市の人口と高齢化率の推移

本市の人口は、平成27年をピークに減少しており、その減少幅は拡大傾向にあります。また、総人口に占める高齢者人口の割合は増加傾向にあり、令和5年では平成17年と比べて約1.6倍になっています。一方、高齢者を支える生産年齢人口は減少していることから、今後ますます生産年齢世代1人が支える高齢者数が増加することが見込まれます。

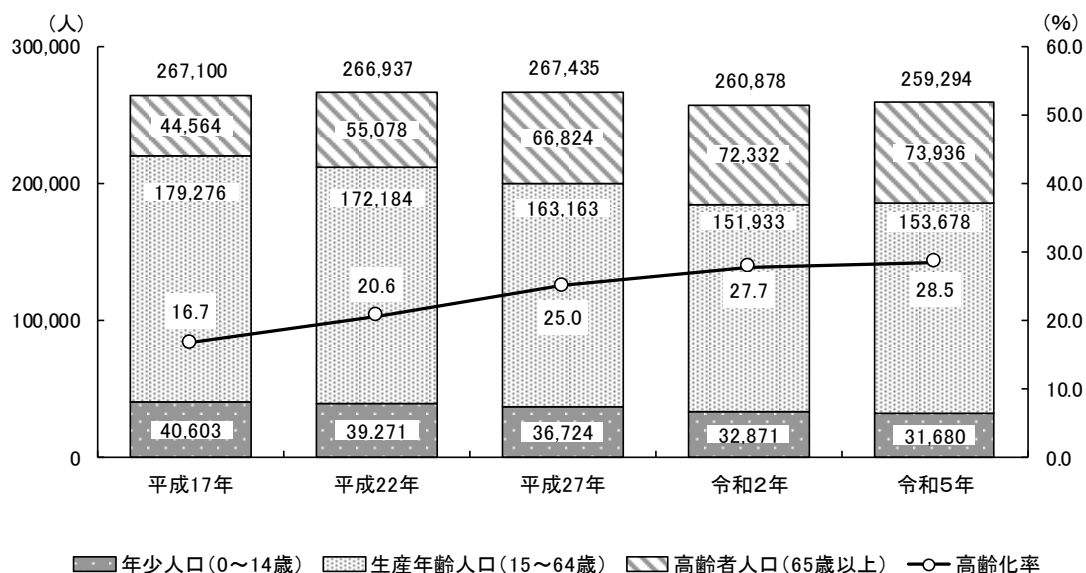


表 人口と高齢化率の推移

単位：人

区分	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和5年
総人口	267,100	266,937	267,435	260,878	259,294
年少人口* (0~14歳)	40,603	39,271	36,724	32,871	31,680
生産年齢人口 (15~64歳)	179,276	172,184	163,163	151,933	153,678
高齢者人口 (65歳以上)	44,564	55,078	66,824	72,332	73,936
高齢化率	16.7%	20.6%	25.0%	27.7%	28.5%
後期高齢者人口 (75歳以上)	18,299	22,950	28,446	35,480	39,267
後期高齢化率	6.9%	8.6%	10.6%	13.6%	15.1%

※総人口には年齢不詳を含むため合計が一致しない場合があります。

資料：国勢調査（平成17年～令和2年、各年10月1日現在）、住民基本台帳（令和5年4月1日現在）

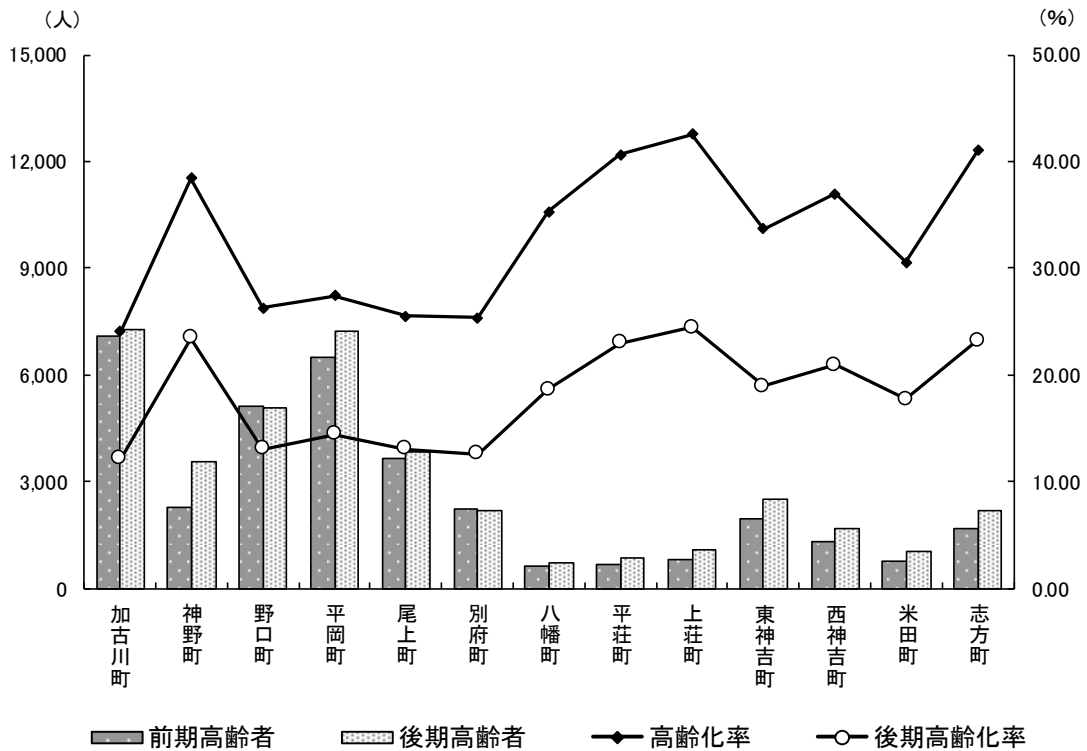
② 各町別の高齢者人口と高齢化率

高齢者人口は、加古川町、野口町、平岡町においては 10,000 人を超え、神野町、尾上町においては 5,000 人を超えています。

町別の高齢化率は、平荘町、上荘町、志方町で4割を超え、神野町、八幡町、東神吉町、西神吉町、米田町においても3割を超えています。

高齢化の進行している地域では、支え合いの担い手の減少が懸念され、高齢者の生活を地域で支えていくため、助け合いや支え合いの担い手の育成・確保を進めていくことが重要となります。

図 各町別の高齢者人口と高齢化率



資料：住民基本台帳（令和5年4月1日現在）

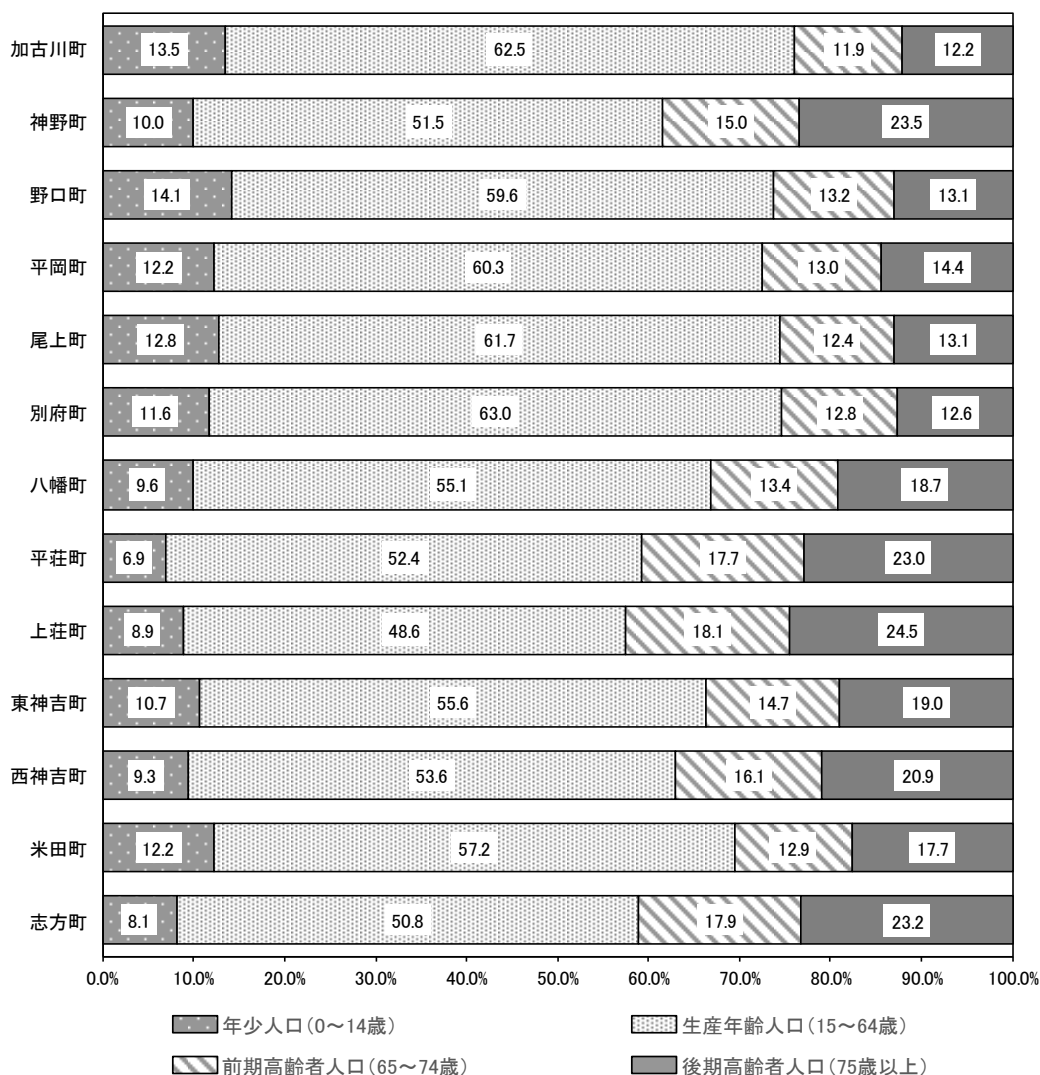
表 各町別の高齢者人口と高齢化率

単位：人

区分	総人口	高齢者人口	高齢者人口		高齢化率	
			前期高齢者	後期高齢者	高齢化率	後期高齢化率
加古川町	59,830	14,381	7,107	7,274	24.04%	12.16%
神野町	15,200	5,845	2,274	3,571	38.45%	23.49%
野口町	38,970	10,234	5,136	5,098	26.26%	13.08%
平岡町	50,045	13,734	6,512	7,222	27.44%	14.43%
尾上町	29,346	7,484	3,643	3,841	25.50%	13.09%
別府町	17,394	4,409	2,221	2,188	25.35%	12.58%
八幡町	3,758	1,326	625	701	35.28%	18.65%
平荘町	3,740	1,522	663	859	40.70%	22.97%
上荘町	4,505	1,917	815	1,102	42.55%	24.46%
東神吉町	13,232	4,462	1,951	2,511	33.72%	18.98%
西神吉町	8,031	2,974	1,292	1,682	37.03%	20.94%
米田町	5,812	1,775	747	1,028	30.54%	17.69%
志方町	9,431	3,873	1,683	2,190	41.07%	23.22%
全市	259,294	73,936	34,669	39,267	28.51%	15.14%

資料：住民基本台帳（令和5年4月1日現在）

図 各町別年齢4区分別の人口構成



③ 高齢者世帯の推移

高齢者世帯の推移は、令和5年で18,278世帯となっており、核家族化の進行の結果、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加し、孤立しやすい高齢者や「老介護」が増加していくことが推測されます。そのため、身近な地域で支えていく仕組みづくりが重要となります。

図 高齢者世帯の推移

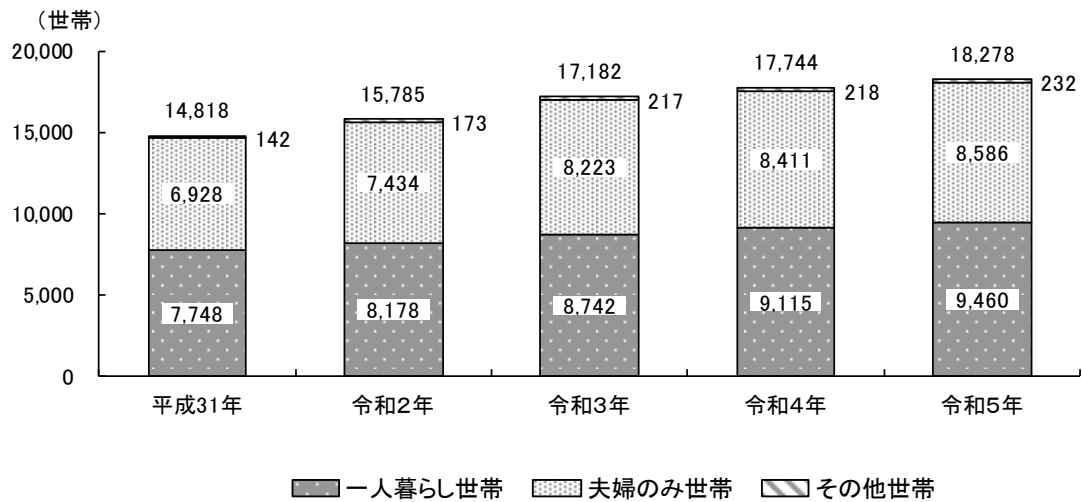


表 高齢者世帯の推移

単位：世帯

区分	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
一人暮らし世帯	7,748	8,178	8,742	9,115	9,460
夫婦のみ世帯	6,928	7,434	8,223	8,411	8,586
その他世帯	142	173	217	218	232
合計	14,818	15,785	17,182	17,744	18,278

資料：民生委員・児童委員による「居宅ねたきり高齢者等の実態調査」（各年4月1日現在）

※調査対象者は70歳以上となっている

(2) 要支援・要介護認定者数の推移

要支援・要介護認定者※数の推移は、令和5年では14,479人となり、3年前に比べ約1.07倍と緩やかに増加しています。要支援・要介護度別にみると、要介護1が他の認定区分に比べてやや増加しており、約1.23倍となっています。全体として増加傾向がある中、要支援2と要介護2は減少しています。

図 要支援・要介護認定者数の推移（各年4月1日現在）

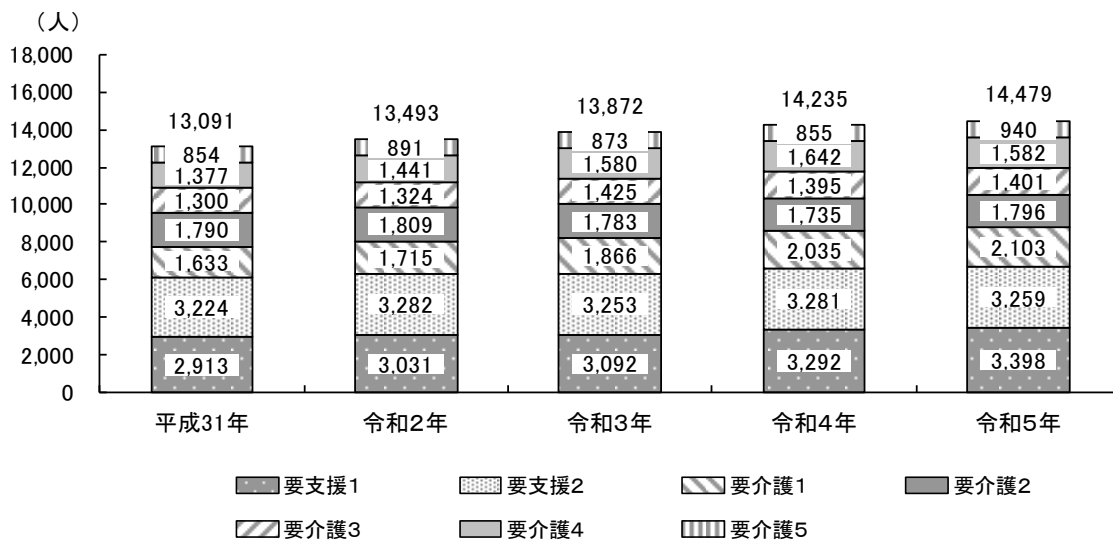


表 要支援・要介護認定者数の推移（各年4月1日現在）

単位：人

認定区分	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
要支援1	2,913	3,031	3,092	3,292	3,398
要支援2	3,224	3,282	3,253	3,281	3,259
要介護1	1,633	1,715	1,866	2,035	2,103
要介護2	1,790	1,809	1,783	1,735	1,796
要介護3	1,300	1,324	1,425	1,395	1,401
要介護4	1,377	1,441	1,580	1,642	1,582
要介護5	854	891	873	855	940
合計	13,091	13,493	13,872	14,235	14,479
対前年度比	—	103.1%	102.8%	102.6%	101.7%

※第2号被保険者（40～64歳）を含む

(3) 介護保険サービスの利用状況

① 居宅介護（介護予防）サービスの利用者数の推移

要介護・要支援認定者数の伸びに伴い、居宅介護（介護予防）サービスの利用者についても、同じような水準で推移しています。

図 居宅介護（介護予防）サービスの利用者数の推移

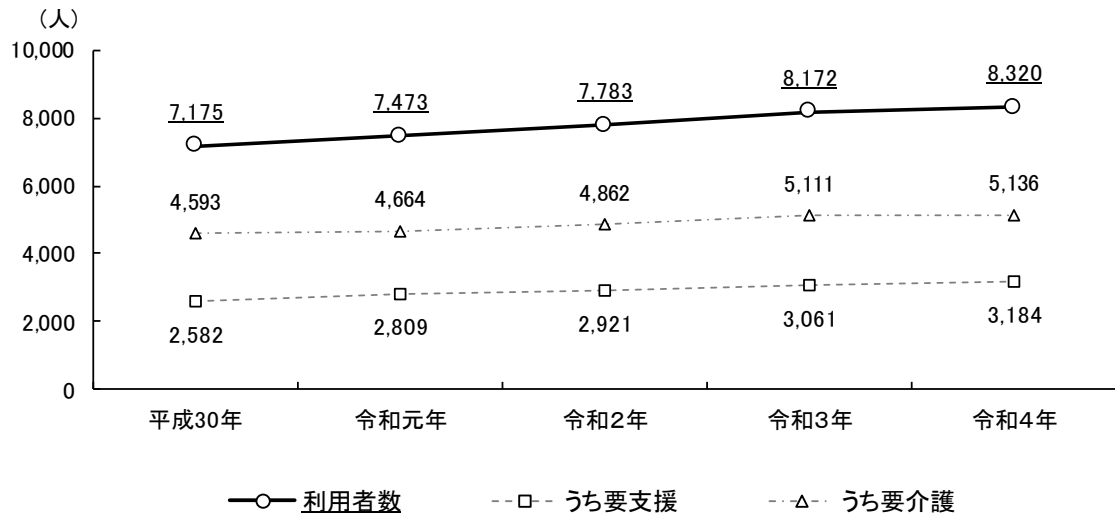


表 居宅介護（介護予防）サービスの利用者数の推移（各年10月実績）

単位：人

認定区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
利用者数	7,175	7,473	7,783	8,172	8,320
（うち要支援）	2,582	2,809	2,921	3,061	3,184
（うち要介護）	4,593	4,664	4,862	5,111	5,136
対前年度比	—	104.2%	104.1%	105.0%	101.8%

② 施設介護サービス利用者数の推移

施設介護サービス利用者数については、毎年若干名増え続け、右肩上がり推移しています。

図 施設介護サービス利用者数の推移

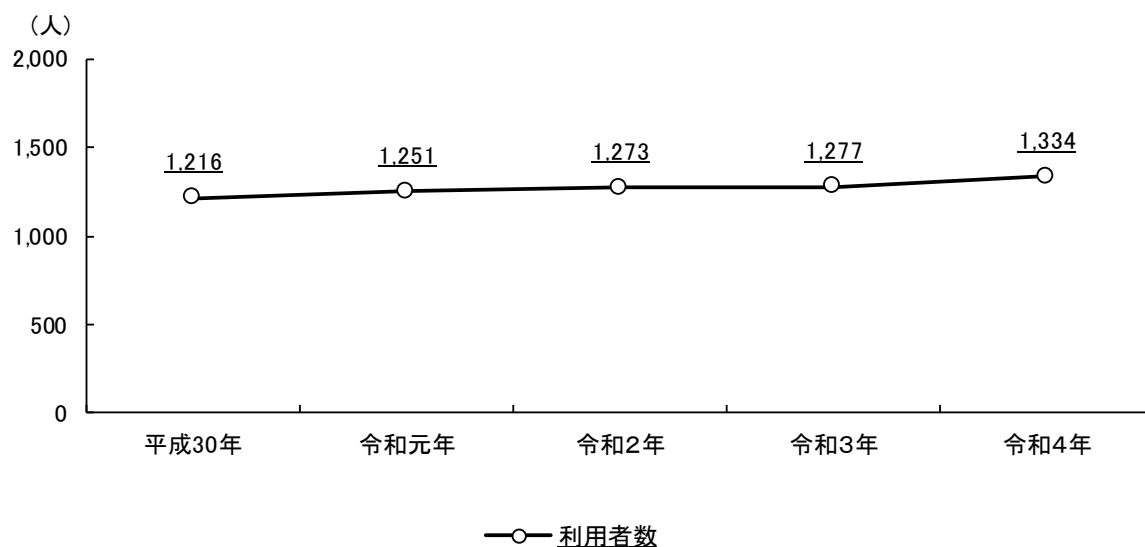


表 施設介護サービス利用者数の推移（各年10月実績）

単位：人

区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
利用者数	1,216	1,251	1,273	1,277	1,334
対前年度比	—	102.9%	101.8%	100.3%	104.5%

③ 地域密着型（介護予防）サービス利用者数の推移

地域密着型（介護予防）サービス利用者数については、要介護・要支援認定者数の増加及び市内施設の整備が進んだことに伴い、利用者数が増加傾向で推移しています。

図 地域密着型（介護予防）サービス利用者数の推移

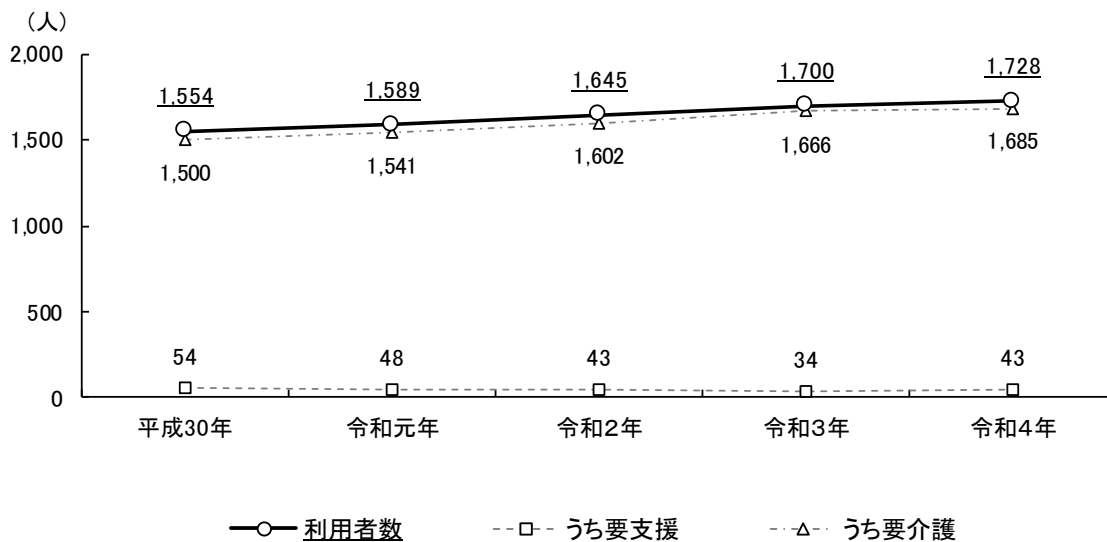


表 地域密着型（介護予防）サービス利用者数の推移（各年10月実績）

単位：人

認定区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
利用者数	1,554	1,589	1,645	1,700	1,728
（うち要支援）	54	48	43	34	43
（うち要介護）	1,500	1,541	1,602	1,666	1,685
対前年度比	—	102.3%	103.5%	103.3%	101.6%

(4) 死亡者数と看取り場所の推移・推計

死亡者を異常死・看取り死に区別し、看取り死を死亡場所別に分類しました。2018 から 2020 年の死亡者数は 2,500 人超で推移しており、2040 年 3,717 人まで増加すると推計されました。

将来推計における「異常死」「その他・不詳」は 2018 年から 2020 年の全死亡に対する割合の平均値、「医療機関」での死亡者は 2020 年から変化しないと仮定し算出しました。「自宅」「施設」での看取りは、2025 年 1,356 人となり 2020 年の約 1.6 倍、2040 年には 1,890 人の約 2.3 倍となります。

図 死亡者数と看取り場所の推移・推計

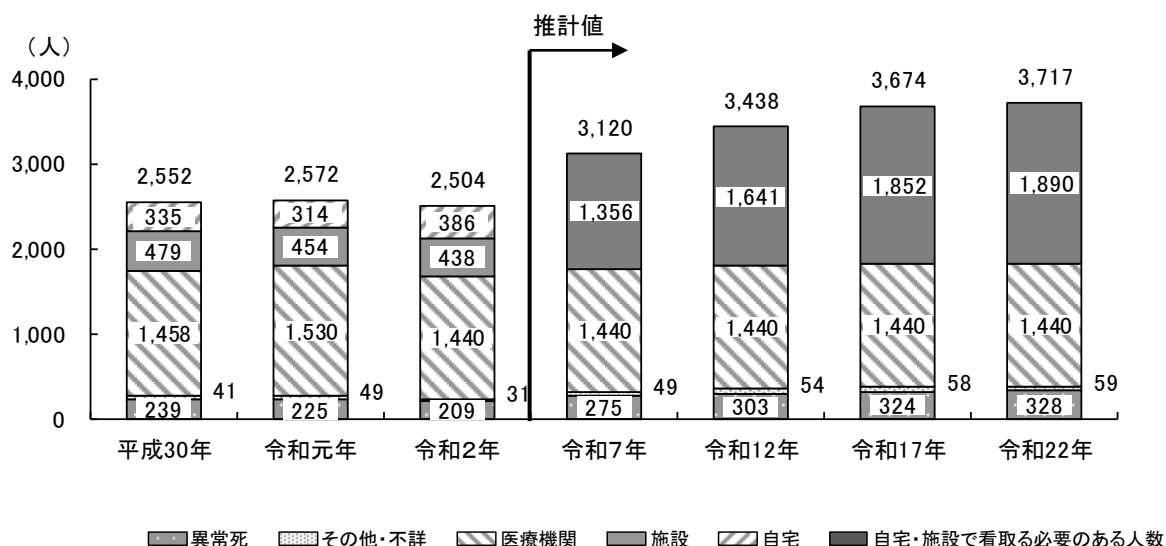


表 死亡者数と看取り場所の推移・推計

単位：人

区分	2018年 (平成30年)	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)	2025年 (令和7年)	2030年 (令和12年)	2035年 (令和17年)	2040年 (令和22年)
自宅	335	314	386	1,356	1,641	1,852	1,890
施設	479	454	438				
医療機関	1,458	1,530	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440
その他・不詳	41	49	31	49	54	58	59
異常死	239	225	209	275	303	324	328
合計	2,552	2,572	2,504	3,120	3,438	3,674	3,717

資料：「令和3年度 加古川市・稲美町・播磨町 在宅医療・看取りに関する実態調査報告書」